

「主はわたしに油を注ぎ」

1. はじめに

- ・ 1 : 1 ~ 4 節 尊敬するテオピロ殿
 - ・ 私たちの間ですでに確信されている出来事。 1 節
 - ・ 私も初めから綿密に調べております。 3 節
 - ・ 順序を立てて、書いて差し上げるのがよいと思います。 3 節
 - ・ すでに教えを受けた事柄が正確な事実であることをわかっていただきたいと思います。 4 節
- ・ 書かれたのは 60 年代前半、ローマの高官テオピロを代表とする異邦人信仰者。
- ・ 当時の教会が異端的な教えによって、教育されてきた伝統的知識に動揺、不安があったことがわかる。

2. 本文

1. ガリラヤ伝道⇒評判がくまなく広まった、みなの人にあがめられた、

- ・ 故郷ナザレに行く。
 - ・ 会堂で。・ イザヤ書 61 : 1
 - ・ わたしの上に主の御霊がおられる。
 - ・ 主が貧しい人々に福音を伝えるようにと、
 - ・ わたしに油を注がれたのだから。
 - ・ 主はわたしを遣わされた。
 - ・ 捕らわれ人には赦免を、
 - ・ 盲人には目の開かれることを告げるために、
 - ・ しいたげられている人々を自由にし、
 - ・ 主の恵みの年を告げ知らせるために。
- ・ 21 節「きょう、聖書のこのみことばが、実現しました。」

2. 22、23 節

- ・ 「みなイエスをほめ、その口から出て来る恵みのことばに驚いた。そしてまた、『この人は、ヨセフの子ではないか。』と彼らは言った。」
- ・ 「イエスは言われた。きっとあなたがたは、『医者よ。自分を直せ。』というたとえを引いて、カペナウムで行われたと聞いていることを、あなたの郷里のここでもしてくれ、と言うでしょう。」
- ・ 24 節 預言者は自分の郷里では歓迎されません。
 - ・ エリヤの例 I 列 17 章
 - ・ エリシャの例 II 列 5 章
- ・ 28 節 会堂にいた人たちは、みなひどく怒った。
- ・ 30 節 真ん中を通り抜けて、行ってしまわれた。

3. まとめ

- ・ みことばを受け取る。⇒新しく生れることの必要、努力。
- ・ 聖書を正しく理解する。(正しく伝える。)
 - ・ 使徒たちの伝えたみことばを曲げた。否定した。(教会史的に異端と呼ばれた考え。)
 - ・ アナバプテストたちの対策。